

# ラベルプリンタ PM-36H

---

## 取扱説明書

- ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるよう请您にしてください。



# はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機は、パソコンに接続して用いることにより、オリジナルラベルを簡単に作成できるラベル作成専用プリンタです。  
本書は、お使いになるときの注意事項や、基本的な使い方を記載しています。お使いになる前に、必ず本書をお読みください。  
なお、本書はお読みになったあとも、大切に保管してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品  
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

本ソフトウェア製品（ソフトウェアに組み込まれたプログラム、イメージ、クリップアート、テンプレート、テキスト等を含みますが、それだけに限りません。）、付属のマニュアル等の文書および本ソフトウェアの複製物についての権限および著作権は、マックス株式会社またはその供給者が所有します。

ユーザーは事前の許可なしに、上記ソフトウェアの全体または一部を転売、複製、改変、リバースエンジニアリング、逆アSEMBルまたは逆コンパイルすることは出来ません。

## 編集ならびに出版における通告



- マックス株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
- 本書における画面表示は使用するパソコンの OS やプリンタによって異なります。
- 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理によりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## 商標について

MAX、Bepop、Bepop mini のロゴはマックス株式会社の登録商標です。  
Microsoft、Windows Vista、Windows、Windows Server は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。  
Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。  
ESC/P は、エプソン株式会社の登録商標です。  
その他、記載したソフトウェア名、製品名は、開発元各社の商標または登録商標です。  
本機で作成するバーコードに関して QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
QR コード生成プログラム Copyright© 2008 DENSO WAVE INCORPORATED  
BarStar Pro エンコードライブラリ (DataMatrix、MaxiCode、PDF417、RSS) の著作権は、アイニックス株式会社にあります。

# 安全にお使いいただくために

本書および本機で使用している表示や絵文字は、本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。その表示や意味は、次のとおりです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。






本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない禁止事項		分解してはいけません
	水に濡らしてはいけません		特定しない義務行為
	電源プラグを抜いてください		特定しない危険通告
	感電の危険があります		火災の危険があります
	やけどの危険があります		

## 警告

本機を安全にお使いいただくために、次のことがらを守ってください。

### ■ AC アダプタ / 電源コード

-  ● 本機専用の AC アダプタ、電源コード以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  ● 付属の AC アダプタ、電源コードは、100V 50Hz/60Hz の電圧以外では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  ● AC アダプタ、電源コードを火気や熱機器に近づけないでください。アダプタの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 同梱されている AC アダプタ、電源コードは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
-  ● タコ足配線はしないでください。
- 浴槽のような湿度の高い場所では使用しないでください。
- AC アダプタ、電源コードのコードを傷つけたり、加工しないでください。また家具などの重いものを載せたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- AC アダプタ、電源コードが傷ついたときは、使用しないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 濡れた手で AC アダプタ、電源コード、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

## ■ 異物が本機に入ったとき



- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、本機の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

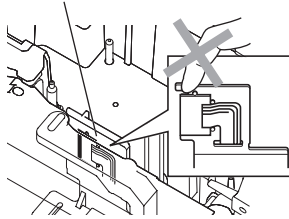


## ■ やけどに注意



- プリントヘッドと周辺の金属部は動作中、動作直後は高温になりますので、直接手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

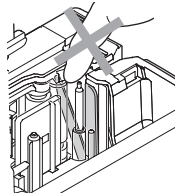
プリントヘッド



## ■ テープカッター



- テープカッターには直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。



## ■ 分解しないでください



- 本機を分解、または改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。



分解・改造により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。

## ■ 落としたり、強い衝撃を与えないでください



- 本機を落とす、踏むなどの強い衝撃を与えると破損することがあります。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。破損したときは、本機の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。



## ■ 水に濡らさないでください



- 本機を水でぬらしたり、飲み物や花瓶の水などを本機にかけないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一こぼしたときは、すぐに本機の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

## ■異常状態で使用しないでください



- 煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。異常があるときは、すぐに本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



## ■袋をかぶらないでください



- 本機が入っていた袋は、お客様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管するか、または廃棄してください。袋をかぶると、窒息のおそれがあります。



## 注意

### ■テープカッター



- カッターユニットが動作しているときは、カバーを開けないでください。また、カッターユニットに余分な力を加えないでください。ケガをするおそれがあります。

### ■ACアダプタ / 電源コード



- ACアダプタ、電源コードを本機とコンセントから抜くときは、必ずコネクタ、電源プラグを持って引いてください。コードを引っ張ると、コードが露出、断線して火災・感電の原因となることがあります。



- お手入れをするときは、本機の電源コードをコンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。

- 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。



- 本機を長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプタ、電源コードを本機とコンセントから抜いて保管してください。

- 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。無理をするとコードが傷つき火災、感電の原因になります。

### ■上にものを置かないでください



- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガをするおそれがあります。

### ■設置・保管場所について



- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり落下して、ケガをするおそれがあります。

### ■その他



- パソコンや本体内部に保存した内容は、永久的な保存はできません。万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障、修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## 使用上の注意

### ■ 本体

- 本機は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本機上部のカバーを持って、持ち上げないでください。カバーが外れ、本機が落下して破損するおそれがあります。
- テレビやラジオなどの近くに置くと、誤動作する可能性があります。電磁妨害のもとになる機器の近くには設置しないでください。
- 本機に直射日光をあてないでください。
- ほこりの多い場所や、高温、多湿、凍結する場所では使用しないでください。故障や誤動作の原因となります。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 本機をそうじするときに、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機性溶剤を使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。本機の汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 本機の上に、ゴムやビニールを長期間置かないでください。しみになることがあります。
- テープ排出口や AC アダプタジャック部、USB ポート、シリアルポート部に物を入れたり、ふさいだりしないでください。
- USB ケーブルは付属のものを使用してください。
- 本機には、マックス純正の消耗品をご使用ください。それ以外のものは使用できません。

### ■ テープ（テープカセット）

- テープを引っ張らないでください。テープカセットが壊れる原因となります。
- テープを貼り付ける面が濡れていたり、ほこりや油で汚れている場合は、テープがはがれやすくなる場合があります。あらかじめ掃除したあとに、テープを貼り付けてください。
- テープを貼り付ける面の材質、表面状態、凹凸、曲面、環境条件などによっては、テープの一部が浮いたり、はがれたりすることがあります。
- 特別な接着強度、安全性が必要な条件下で使用する場合は、あらかじめ目立たない場所で、確認、試験をしたあとで、使用してください。
- テープを屋外で使用する場合は、紫外線、風雨などの影響で、テープの色あせが生じたり、テープの端が浮いたりすることがあります。
- 油性あるいは水性ペンなどで書かれた上に直接テープを張り付けると、インクが透けて見えることがあります。テープを2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のテープを使用してください。
- 使い終わったテープカセットは使用しないでください。
- テープカセットは、直射日光、高温多湿、ほこりを避けて、冷暗所で保管してください。また開封後は、できるだけ早く使用してください。
- 上記の原因によって生じた損害等について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ■ CD-ROM

- CD-ROM に傷を付けないように注意してください。
- CD-ROM を極端に高温、あるいは低温の場所に置かないでください。
- CD-ROM の上に重いものを載せたり、力を加えたりしないでください。

### ■ ソフトウェアの使用について

- CD-ROM に収録されているソフトウェアは、本機を使用する目的に限り、一事業所内で複数のパソコンにインストールして使用することができます。

# 目次

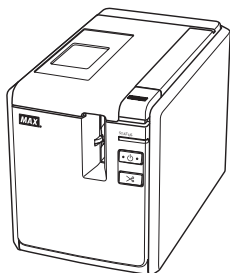
はじめに .....	1
安全にお使いいただくために .....	2
警告 .....	2
注意 .....	4
使用上の注意 .....	5
目次 .....	6
付属品を確認する .....	7
各部の名称 .....	8
LED 表示について .....	9
ご使用前に .....	11
接続する .....	12
電源を接続する .....	12
パソコンと接続する .....	13
インターフェイスクーブルのご使用について .....	14
テープカセットをセットする .....	15
使用できるテープの種類 .....	15
テープカセットをセットする .....	15
ソフトウェアをインストールする .....	16
ソフトウェアをアンインストールする .....	18
便利な機能を使用する .....	20
高速印刷と高解像度印刷 .....	20
分散印刷 .....	21
BTP (バーコードテンプレート印刷) 機能 .....	23
本機の設定を印刷する .....	28
シリアルインターフェイスの設定 .....	29
パソコンの通信速度設定 .....	29
本機の通信速度設定 .....	29
お手入れ .....	30
困ったときは .....	31
Q & A .....	31
仕様 .....	33
付録 .....	34
BTP (Barcode Template Print) function 基本的な設定の流れ .....	34
設定用バーコード一覧 .....	35
索引 .....	38

## 付属品を確認する

箱をあけたら、次の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

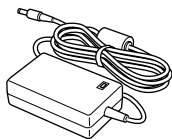
### ■ PM-36H

ラベルプリンタ本体



### ■ AC アダプタ

電源コードと接続します。

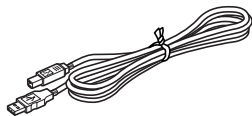


### ■ 電源コード

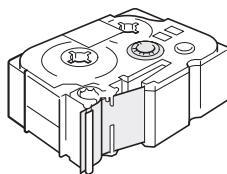
AC アダプタと家庭用電源コンセント (AC100V) に接続します。



### ■ USB ケーブル

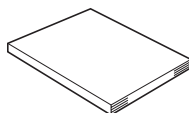


### ■ テープカセット



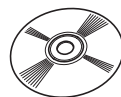
### ■ 取扱説明書

本書です。大切に保管してください。



### ■ CD-ROM

パソコンにインストールするプログラムなどが収録されています。



### ■ テープカタログ

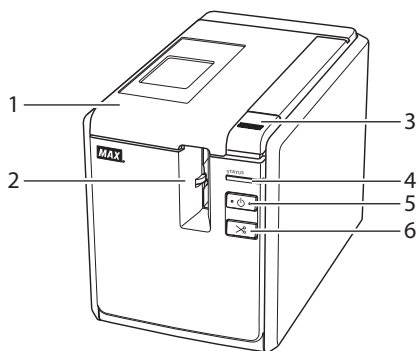
Bepop mini シリーズ用テープカセットのカタログです。

### ■ 保証書・お客様登録カード

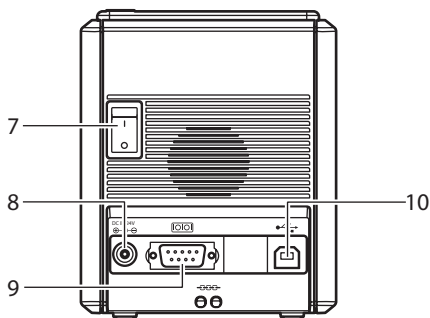


# 各部の名称

## ■ PM-36H



前面



背面

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. カバー            | 6. フィード & カットボタン      |
| 2. テープ排出口         | 7. 主電源スイッチ            |
| 3. カバーオープンボタン     | 8. ACアダプタジャック         |
| 4. STATUS表示ランプ    | 9. シリアル (RS-232C) ポート |
| 5. 副電源ボタン (ランプ付き) | 10. USBポート            |

### お願い

- カバーを開けたままにしておくと、印字ヘッドにほりこりが付着することがあります。カバーは必ず閉めてください。

## LED 表示について

本機の状態は、電源ランプや STATUS ランプの LED 表示で確認できます。

### ■本機の LED 表示

表示ランプの状態		状態	対処
電源ランプ (緑)	STATUS ランプ (赤)		
点灯	消灯	受信待機状態	—
点滅	消灯	受信データあり	—
点滅	点灯	受信中 1) テープなし 2) カバーが開いている 3) 非対応テープカセット	1) テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。 2) カバーを閉めてください。 3) 正しいテープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
点灯	点灯	受信待機中 1) テープなし 2) カバーが開いている 3) 非対応テープカセット	1) テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。 2) カバーを閉めてください。 3) 正しいテープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
点灯	点滅	印刷中 1) テープなし 2) カバーが開いている 3) テープ間違い 4) 非対応テープカセット	1) テープカセットをセットし、カバーを閉めてください。 2) カバーを閉めてください。 3) ソフトウェアのテープカセット設定を変更するか、正しいテープカセットをセットしてください。 4) 正しいテープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		テープエンド	テープのあるテープカセットをセットし、カバーを閉めてください。
		通信エラー	本体前面の副電源ボタンを押してください。

表示ランプの状態		状態	対処
電源ランプ (緑)	STATUS ランプ (赤)		
点灯	速い点滅	カッターエラー	本機内にテープが詰まっていないか確認し、電源をいったん切ってから入れなおしてください。それでも点滅が続くときは、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
		ローラーホルダーエラー	
		プリントヘッド過熱エラー	本機の電源を切ってください。
点灯	非常に速い 点滅	EEPROM エラー	電源をいったん切ってから入れなおしてください。それでも点滅が続くときは、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
		回路基板エラー	
消灯	点灯	ブートプログラム起動中	—

## ご使用の前に

本機でラベルを作成するには、次の準備が必要です。

### お知らせ

- パソコンと本機の接続手順は、お使いのパソコンの OS と接続方法（USB 接続、シリアル接続）によって異なります。接続手順について詳しくは、「パソコンと接続する」(→ P.13) をご覧ください。

#### 接続する

本機を電源とパソコンに接続して、テープカセットをセットします。詳しくは、「接続する」(→ P.12) と「テープカセットをセットする」(→ P.15) をご覧ください。

#### ソフトウェアをインストールする

パソコンで本機を使用するためのプリンタドライバとラベルを作成するための P-touch Editorなどをインストールします。ソフトウェアのインストール方法について詳しくは、「ソフトウェアをインストールする」(→ P.16) をご覧ください。

#### ラベルを作成する

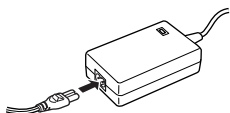
準備ができれば、ラベル作成を始めます。  
ラベルの作成方法について詳しくは、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) または、P-touch Editor のヘルプをご覧ください。

# 接続する

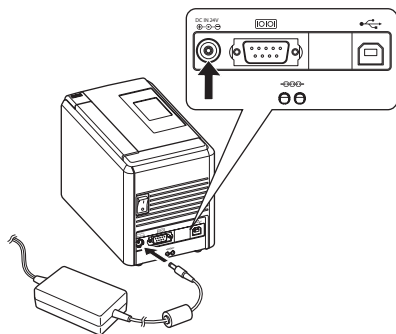
本機に電源とパソコンを接続します。

## 電源を接続する

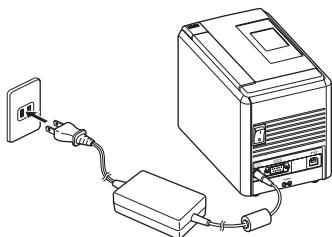
- 1** 付属の AC アダプタと電源コードを接続します。



- 2** 本体背面の AC アダプタジャックに、AC アダプタのコネクタを差し込みます。

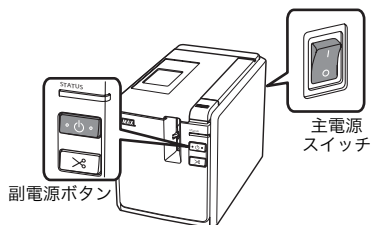


- 3** 電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



- 4** 電源をいれるには  
本体背面の主電源を入れてから、前面の副電源ボタンを押します。

**電源を切るには**  
本体前面の副電源ボタンを長押しして電源を切ってから、本体背面の主電源スイッチを切ります。



## お願い

- AC アダプタを取り外したり、本体背面の主電源を切る場合は、必ず、本体前面の副電源ボタンを押して電源を切ってから行ってください。
- 使い終わったら、AC アダプタを本体およびコンセントから抜いて保管してください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って行ってください。AC アダプタ本体やコード部分を強く引っ張らないでください。断線することがあります。
- 付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。故障の原因になります。

## パソコンと接続する

本機とパソコンをケーブルで接続します。使用するケーブルは、接続するポートによって異なります。

	OS	基本セットアップ	シリアルポート (ESC/P と P-touch Template のみ)
		USB ポート	
PM-36H	Windows® XP/Windows Vista®/ Windows® 7	○	○

## インターフェイスケーブルのご使用について

シリアル (RS-232C) ケーブルは付属ではありません。インターフェイスにあったケーブルを使用してください。

### お願い

- VCCI の規定を遵守するためには、以下のことをお守りください。
  - 1) 付属のインターフェイスケーブルを使用してください。
  - 2) シリアルケーブルについては、シールドされたケーブルを使用してください。
- マックス株式会社によって明示的に承認されていない変更や改変を行った場合、お客様が本機を使用する権限は無効になります。

### ■ USB ケーブル

付属のケーブルを使用してください。

### ■ シリアル (RS-232C) ケーブル

本機で使用可能なシリアルケーブル (RS-232C ケーブル) のピン割り当てを下表に示します。長さが 1.8 メートルを超えるシリアルケーブルは使用しないでください。

本機側

(D-sub メス、ロックネジ #4-40 インチネジ)

パソコン側

(D-Sub9P メス)

信号名	ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	信号名
DCD	1		1	DCD
RXD	2		2	RXD
TXD	3		3	TXD
DTR	4		4	DTR
GND	5		5	GND
DSR	6		6	DSR
RTS	7		7	RTS
CTS	8		8	CTS
RI	9		9	RI

### お知らせ

- シリアルインターフェイスの設定について詳しくは、「シリアルインターフェイスの設定」(→ P.29) をご覧ください。

# テープカセットをセットする

本機で使用できるテープの種類とテープカセットをセットする手順を説明します。

## 使用できるテープの種類

本機で使用できるラベル用テープの種類は、次のとおりです。

### ■レタリテープ

### ■高速レタリテープ

高速レタリテープを使うと、3種類の速度と解像度の組み合わせによる高速印刷が可能です。高速印刷について詳しくは、「高速印刷と高解像度印刷」(→ P.20)をご覧ください。

## お知らせ

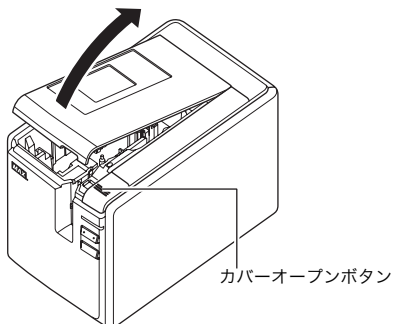
- 本機で使用できるテープの詳細について詳しくは、テープカタログ、弊社ホームページをご覧ください。

## テープカセットをセットする

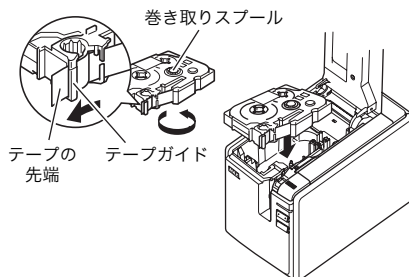
テープカセットをセットする手順を説明します。

- 1 本体前面の副電源ボタンを長押しして電源を切ります。

- 2 カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。



- 3 テープカセットをセットします。テープの先端がテープガイドの下を通っていることを確認してください。



- ・ もし、テープがたるんでいたら、巻き取りスプールを指で矢印の方向へ巻いて、たるみを取ります。

- 4 カバーを閉めて、本体前面の副電源ボタンを押します。

- 5 テープカセットのたるみを取るために、フィード & カセットボタンを押します。

## お願い

- 本機は、プリントヘッドとヘッドローラーでテープを挟んで印刷します。ヘッドローラーがテープを挟んでいるときは背面の主電源を切ったり、テープカセットを取り出したりしないでください。本体前面の副電源ボタンを長押しして電源を切ったり、ラベルを印刷してから10分間何も操作しないと、ヘッドローラーは自動的にリリースされ、テープカセットを取り出すことができます。ただし、ヘッドローラーがテープを挟んでいるときに本体背面の主電源を切ると、ヘッドローラーはリリースされません。



# ソフトウェアをインストールする

お使いのパソコンの OS によって、インストール手順は異なります。インストール手順は予告なく変更される場合があります。

## お知らせ

- PM-36H をご使用の場合、ソフトウェアは次のバージョンでご使用ください。旧バージョンをご使用の場合、正常に印刷されないことがあります。  
P-touch Editor Version 5.0.101 以降 (CD-ROM に収録されています)。
- ソフトウェアについて詳しくは、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) をご覧ください。
- ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) をご覧になるには、「スタート」 - 「すべてのプログラム (プログラム)」 - 「MAX」 - 「P-touch Editor 5.0」 - 「ソフトウェアユーザーズガイド」の順にクリックしてください。

ここでは、P-touch Editor 5.0、プリンタドライバ、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) のインストール手順を説明します。

## お願い

- 指示があるまでは本機とパソコンを接続しないでください。
- ソフトウェアをインストールするときは、アドミニストレータ権限でログインしてください。
- 本機の電源を主電源から切ってください。

ここでは、Windows Vista® を例に説明しています。

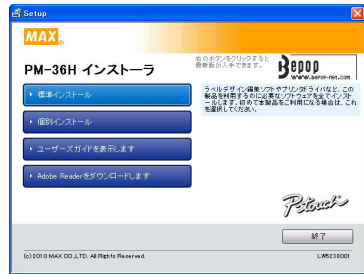
- 1 **パソコンを起動させ、CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入します。**

## お知らせ

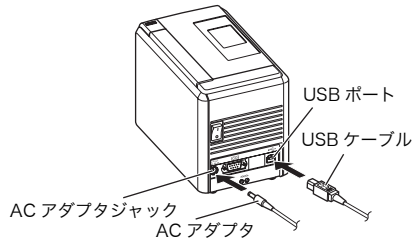
- 初期画面が自動的に表示されないときは、CD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 2 **【標準インストール】をクリックします。**  
インストール項目：

- **標準インストール**  
P-touch Editor 5.0、プリンタドライバ、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) がインストールされます。
- **個別インストール**  
P-touch Editor 5.0、プリンタドライバを個別にインストールします。
- **ユーザーズガイドを表示します**  
ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) を表示します。(PDF ファイルをご覧ください。ただのためには Adobe® Reader® が必要です。)
- **Adobe Reader をダウンロードします**  
Adobe® Reader® のダウンロードページを表示します。



- 3 **使用許諾契約をよくお読みになり、使用許諾の諸条件に合意される場合は【はい】をクリックします。**  
画面の指示にしたがってインストールを進めます。
- 4 **指示画面が表示されたら、本機とパソコンを USB ケーブルで接続して、電源を入れてください。**



## お知らせ

- インストールを続ける事を確認する画面が現れた場合、「続行」や「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択して次へ進んでください。
- 本製品は、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので問題なくお使いいただけます。

**5** 本機が認識されると自動的にプリンタドライバがインストールされます。

**6** 本機をオンラインでユーザー登録する画面が表示されたら、登録方法を選んで、**[次へ]** をクリックします。

本機をオンラインで登録するのを選んだ場合は、オンラインユーザー登録画面がインターネットブラウザで表示されません。画面の表示に仕掛けてください。

**7** **[完了]** をクリックします。

ソフトウェアのインストールが完了しました。パソコンを再起動するように画面に表示された場合は、再起動してください。

**8** ソフトウェアを起動します。

P-touch Editor を起動するには、「スタート」 - 「すべてのプログラム (プログラム)」 - 「MAX」 - 「P-touch Editor 5.0」 - 「P-touch Editor 5.0」の順にクリックしてください。

# ソフトウェアをアンインストールする

ここでは、ソフトウェアとプリンタドライバのアンインストール手順を説明します。

## ■ P-touch Editor をアンインストールする

- 1 Windows® XP の場合**  
「コントロールパネル」画面の「プログラムの追加と削除」を選択します。  
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。
- Windows Vista®/Windows® 7 の場合**  
「コントロールパネル」画面の「プログラムと機能」を選択します。  
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。
- 2 Windows® XP の場合**  
「P-touch Editor 5.0」を選択して、[削除] をクリックします。  
**Windows Vista®/Windows® 7 の場合**  
「P-touch Editor 5.0」を選択して、[アンインストール] をクリックします。  
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されるので、[続行] をクリックする。  
パスワードの入力を求められた場合は、パスワードを入力し、[OK] をクリックする。
- 3 [OK] をクリックします。**  
ソフトウェアのアンインストールが完了すると「メンテナンスの完了」画面が表示されます。[完了] をクリックします。
- 4 「プログラムの追加と削除」(Windows® XP) / 「プログラムのアンインストールまたは変更」(Windows Vista®/Windows® 7) を閉じます。**  
P-touch Editor のアンインストールが完了しました。

## ■ プリンタドライバをアンインストールする

- 1 本機の電源を切ります。**
- 2 Windows® XP の場合**  
「コントロールパネル」画面の「プリンタとファクス」を選択します。  
**Windows Vista®/Windows® 7 の場合**  
「コントロールパネル」画面の「ハードウェアとサウンド」、「プリンタ」(Windows Vista®) / 「デバイスとプリンター」(Windows® 7) を選択します。

### お知らせ

- 詳しくは、Windows® のヘルプをご覧ください。

- 3 Windows® XP の場合**  
「MAX PM-36H」を選択して、「ファイル」メニューから「削除」、または右クリックして「削除」を選択します。  
**Windows Vista®/Windows® 7 の場合**  
「MAX PM-36H」を選択して、「このプリンタを削除」(Windows Vista®) / 「デバイスの削除」(Windows® 7) をクリック、または右クリックして「削除」(Windows Vista®) / 「デバイスの削除」(Windows® 7) を選択します。

- 4 Windows® XP の場合**  
「ファイル」メニューから「サーバーの  
プロパティ」を選択します。「プリント  
サーバーのプロパティ」画面が表示され  
ます。

**Windows Vista® の場合**

「プリンタ」画面内で右クリックして、  
「管理者として実行」、「サーバーのプロ  
パティ ...」を選択します。  
権限確認画面が表示されたら、[続行]  
をクリックします。  
「ユーザーアカウント制御」画面が表示  
されたら、パスワードを入力して [OK]  
をクリックします。  
「プリントサーバーのプロパティ」画面  
が表示されます。

**Windows® 7 の場合**

「デバイスとプリンター」画面の「プリ  
ントサーバープロパティ」を選択しま  
す。「プリントサーバーのプロパティ」  
画面が表示されます。

- 5 Windows® XP の場合**  
「ドライバ」のタブをクリックして、  
「MAX PM-36H」を選択し、[削除] を  
クリックします。  
手順 7 へ進みます。

**Windows Vista®/Windows® 7 の場合**

「ドライバ」のタブをクリックして、  
「MAX PM-36H」を選択し、[削除 ...]  
をクリックします。

- 6 Windows Vista®/Windows® 7 の場合**  
「ドライバとパッケージの削除」画面が  
表示されたら、「ドライバのみ削除する」  
を選択して、[OK] をクリックします。

- 7 「プリントサーバーのプロパティ」画面  
を閉じます。**  
プリンタドライバのアンインストールが  
完了しました。

## 便利な機能を使用する

本機とパソコンの接続が完了したら、ラベルを作成して印刷します。  
この章では、ラベルを作成する際に知っておくと便利な印刷設定やパソコンに接続しなくてもバーコードリーダーを使ってラベルを印刷する手順などを説明します。

### ■ ラベルを高速／高解像度印刷するとき

「高速印刷と高解像度印刷」をご覧ください。(→ P.20)

### ■ 大量のラベルを複数台のプリンタに分けて印刷するとき

「分散印刷」をご覧ください。(→ P.21)

### ■ パソコンを使わずにバーコードリーダーだけで印刷するとき

「BTP (バーコードテンプレート印刷) 機能」をご覧ください。(→ P.23)

### ■ 本機の現在の設定をリストとして印刷するとき

「本機の設定を印刷する」をご覧ください。(→ P.28)

## 高速印刷と高解像度印刷

出力設定と使用するテープの種類を組み合わせることで、印刷速度や解像度を変更できます。高速レタリテープを使用すると、より高速・高解像度で印刷できます。

出力設定	テープ種類		解像度
	レタリテープ (LM-Lxxx)	高速レタリテープ (LM-Hxxx)	
高速 (高速レタリテープのみ)	—	約 80 mm/ 秒	360 × 180 dpi
標準	約 20 mm/ 秒	約 52 mm/ 秒	360 × 360 dpi
高解像度 (高速レタリテープのみ)	—	約 20 mm/ 秒	360 × 720 dpi

- 高速レタリテープを使用するだけで、レタリテープ使用時よりも高速で印刷できます (標準設定)。
- 高速レタリテープで出力設定を「高速」に設定するとより速く印刷できます。ただし、送り方向の解像度が低くなるので、精密な印刷には適していません。
- 高速レタリテープで出力設定を「高解像度」に設定すると解像度が高くなり、画像や曲線などの精密な印刷に適しています。
- バーコードなどを印刷する場合は、解像度の縦横比率が一致している「標準」で印刷してください。

### ご注意

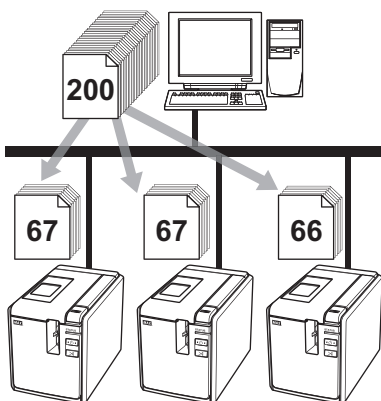
- 上記の印刷速度は、最速時の数値です。使用状況により異なることがあります。

## 分散印刷

大量のラベルを作成する場合に、複数台のプリンタに印刷を分散させることができます。同時に印刷できるので、トータルの印刷時間を短縮できます。

### ご注意

- USB 接続のプリンタに印刷を分散できません。
- 印刷枚数は自動的に指定したプリンタに振り分けられます。振り分けるプリンタに対して、割り切れない印刷枚数を設定した場合は、手順④の「分散印刷の設定」画面で指定する画面上のプリンタから順番に振り分けられます。

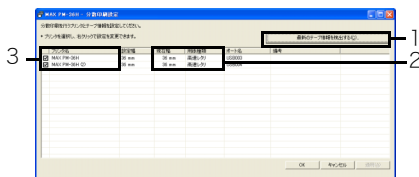


- ① P-touch Editor 5.0 のツールバーの [ファイル] から [印刷] をクリックします。
- ② [プロパティ] をクリックします。

- ③ 「拡張設定」タブ内の「分散印刷を適用する」をチェックし、[設定] をクリックします。



- ④ 「分散印刷の設定」画面で分散印刷するプリンタを設定します。



1. [最新のテープ情報を検出する] をクリックします。
2. 「現在幅」、「用紙種類」など検出された現状のプリンタ情報が表示されません。
3. 分散印刷したい「プリンタ名」横のチェックボックスにチェックを入れます。

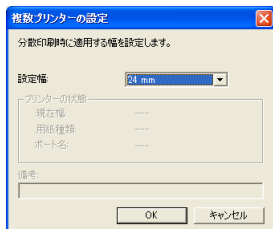
- 5** 使用するテーブ幅を設定します。  
A.1 台のプリンタを選択した場合  
手順④の画面で、設定するプリンタ名をダブルクリックします。またはプリンタ名を選択した上で右クリックし、「設定」を選びます。「設定幅」のプルダウンリストからテーブ幅を選択します。



### お知らせ

- 「備考」に記入した情報は手順④の画面の「備考」に表示されます。

- B. 複数台のプリンタを選択した場合**  
手順④の画面で、設定するプリンタ名を複数選択して右クリックし、「設定」を選びます。「設定幅」のプルダウンリストからテーブ幅を選択します。選択したプリンタ全てが同じテーブ幅で設定されます。



### お知らせ

- 複数台を設定する場合は「プリンタの状態」、「備考」欄は使用できません。

- 6** [OK] をクリックして、テーブ幅設定画面を閉じます。

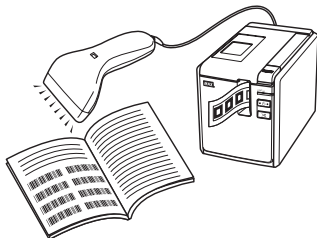
- 7** [OK] をクリックして、「分散印刷の設定」画面を閉じます。  
設定が終了しました。

### お願い

- 「現在幅」に表示されているテーブ幅と異なるテーブ幅を設定すると「現在幅」欄に🚫が表示されます。「設定幅」で設定した幅のテーブをセットしてください。
- 汎用 USB ハブやプリントサーバーなどを使用して接続する場合、プリンタの情報を検出できないことがあります。手入力での設定し、印刷可能かどうかを事前に確認の上、ご使用ください。
- ルーターを超える、またはファイアウォールなどのセキュリティ環境によっては、使用できない場合があります。
- 実際に使用する環境での接続テストをお勧めします。購入先の販売代理店へご相談ください。

## BTP (バーコードテンプレート印刷) 機能

本機にバーコードリーダーを接続して、バーコードを読み取るだけでパソコンに接続しなくても、ラベルやバーコードを簡単に印刷できます。



### □ 定型テンプレート印刷機能 (→ P.24)

使用頻度の高いラベルデータを本機に登録しておく、バーコードを読み取るだけで、同じラベルが印刷できます。

### □ バーコード作成印刷機能 (→ P.25)

バーコードリーダーで読み取ったバーコードをあらかじめ作成しておいたテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。

### □ データベース置換印刷機能 (→ P.26)

テンプレートのオブジェクトをデータベースに接続しておく、データベースのキーとなるバーコードをバーコードリーダーでスキャンすることにより、テンプレートのオブジェクトをデータベースの内容に置き換えて印刷します。

## ■ はじめに

本機にバーコードリーダーを接続してください。

□ バーコードリーダー接続インターフェイスは、RS-232C をご使用ください。

### □ バーコードリーダーマックス取扱い機種

- ・ OPR-4001/A (オプトエレクトロニクス社製)
- ・ その他、市販のスキャナをご使用になる場合は、通信設定やインターフェース等をご確認の上、選定を行ってください。

## □ OPR-4001A の設定

- ・ OPR-4001/A をご使用になる場合は初期設定として下記サフィックスの設定を行う必要があります。
- ・ 開始→サフィックスの消去→終了の順でバーコードを読みとって下さい。  
※ 終了を読むとバーコードリーダーのブザーが鳴り止みます。

① 開始



② サフィックスの消去



③ 終了



## お願い

- 使用したいラベルデータやテンプレートはご使用前に Transfer Manager を利用してパソコンから本機へ転送する必要があります。Transfer Manager について詳しくは、ソフトウェアユーザズガイド (PDF) をご覧ください。
- バーコードリーダーは、プレフィックス、サフィックスを無しに設定してご使用ください。
- 通信速度設定などを変更する必要があります。設定の方法について詳しくは、お使いのバーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。本製品のシリアルポート設定は次の通りです。

ビット / 秒	9600bps	フロー制御	DTR
パリティ	なし	ストップビット	1
ビット長	8		

- 本機のシリアルポート通信設定の変更について詳しくは、「シリアルインターフェイス設定 (Windows® のみ)」 (→ P.29) をご覧ください。
- バーコードリーダーのご使用方法について詳しくは、各メーカーへお問い合わせください。



## ■ 定型テンプレート印刷機能

使用頻度の高いラベルデータを本機に登録しておくパソコンに接続しなくても、バーコードを読み取るだけで、同じラベルが簡単に印刷できます。

<名前ラベル>

鈴木 太郎

<住所ラベル>

〒123-XXXX  
東京都中央区日本橋箱崎町  
松楠 花子様

### お知らせ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。

- 1 印刷したいラベルデータを Transfer Manager を使って、P-touch Editor 5.0 から本機に転送します。(Transfer Manager について詳しくは、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) をご覧ください。)

### お知らせ

- ラベルのテキストオブジェクトを画像にすることができます。画像にすると文字の編集ができなくなるため、よく使うテンプレートを間違えて編集してしまうことがなく、便利です。P-touch Editor 編集画面のテキストオブジェクトの上で右クリックして、「プロパティ」を選択します。「拡張」タブをクリックして、「文字の編集を禁止する」にチェックを入れます。もし、「拡張」タブが表示されない場合は、「ツール」メニューから「オプション」を選びます。「全般」タブをクリックして、「その他」の中の「オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示」にチェックを入れると、「プロパティ」で「拡張」タブが表示されるようになります。「文字の編集を禁止する」のチェックを外すとテキストに戻り、編集することが可能になります。

- 2 Transfer Manager の「転送用データセット」にデータを転送すると、キー割り当て番号が自動的に設定されます。

### お願い

- 定型テンプレート印刷機能で使用したいラベルデータはキー割り当て番号が 1 から 10 になるように設定してください。

- 3 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。

読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。

- 4 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

### お願い

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch テンプレート設定でラベルが印刷されます。(「オートカットあり」、「ハーフカットあり」で 1 枚ラベルが印刷されます。) P-touch テンプレート設定について詳しくは、スタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム (プログラム)」-「MAX」-「P-touch Editor 5.0」から「PM-36H テンプレートマニュアル」を選択してご覧ください。
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。(例) 数字の設定は次のように行います：7 → [00][7]、15 → [0][1][5]
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 5 印刷したいラベルデータのキー割り当て番号と同じ番号の「定型テンプレート番号」バーコードで読み取ります。

- 6 指定したラベルが印刷されます。

## ■ バーコード作成印刷機能

バーコードリーダーで読み取ったバーコードをあらかじめ作成しておいたテンプレートのサイズや規格に合わせて印刷します。

### お願い

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。
- バーコードリーダーで読み取るバーコードとあらかじめ作成しておいたテンプレートバーコードの規格が異なる場合は、バーコードを作成して印刷できない場合があります。

- 1 印刷したいバーコードテンプレートデータを Transfer Manager を使って、P-touch Editor 5.0 から本機に転送します。(Transfer Manager について詳しくは、ソフトウェアユーザーズガイド(PDF)をご覧ください。)



(CODE128/9 桁 /69mm × 17mm)

### お願い

- バーコードテンプレートは、スキャンするバーコードのサイズや桁数の最大値を想定して作成してください。テンプレートで設定された桁数を超えたバーコードを作成することはできません。

- 2 Transfer Manager の「転送用データセット」にデータを転送すると、キー割り当て番号が自動的に設定されます。
- 3 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。  
読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。
- 4 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

### お願い

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch テンプレート設定でラベルが印刷されます。(「オートカットあり」、「ハーフカットあり」で1枚ラベルが印刷されます。) P-touch テンプレート設定について詳しくは、スタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム (プログラム)」 - 「MAX」 - 「P-touch Editor 5.0」から「PM-36H テンプレートマニュアル」を選択してご覧ください。
- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで3桁の数字を読み取ってください。数字3桁を読み取ると自動的に確定します。  
(例)  
数字の設定は次のように行います：  
7 → [00][7]、15 → [0][1][5]
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。

- 5 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、バーコードテンプレートのキー割り当て番号を「テンキー入力」バーコードの数字(3桁)で読み取ります。

### お願い

- 数字3桁を読み取ると自動的に確定します。  
(例)  
数字の設定は次のように行います：  
7 → [00][7]、15 → [0][1][5]
- 枚数を変更する場合は、もう一度、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。

**6** 作成したいバーコードを読み取ります。



(CODE128/9 桁)

**7** 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

**8** テンプレートで設定したサイズ、規格でバーコードが印刷されます。



## ■ データベース置換印刷機能

あらかじめ、ラベルデータのオブジェクトにデータベースのフィールドの関連付けを行っておきます。接続されたデータベースファイルのキーとなるバーコードをバーコードリーダーで読み取ると、指定したテンプレートのオブジェクトを置き換えて印刷します。

### お願い

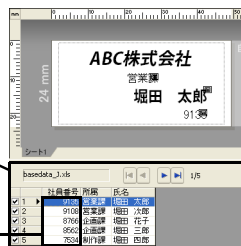
- キーとなるバーコードとは、データベースファイルのレコードビューで左端（フォームビューの "A" 欄）に表示される情報をバーコードにしたものです。事前にこのキーバーコードを作成しておいてください。
- データベースのフォームビュー "A" 欄内の情報は他に同じ内容のものがないようにしてください。また、情報が2行で入力されていてもバーコードリーダーで読み取ったときには、1行目の内容しか認識できません。フォームビューの "A" 欄の情報は1行で入力してください。
- 各設定に必要な読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。

**1** 印刷したいラベルデータとデータベースファイルの関連付け（接続）設定を行います。

設定方法について詳しくは、「P-touch Editor ヘルプ」をご覧ください。

レコードビュー

キーバーコードによってデータが置き換わります。



**2** ラベルデータを Transfer Manager を使って、P-touch Editor 5.0 から本機に転送します。(Transfer Manager について詳しくは、ソフトウェアユーザーズガイド (PDF) をご覧ください。)

データベースファイルも一緒に転送されます。

**3** Transfer Manager の「転送用データセット」にデータを転送すると、キー割り当て番号が自動的に設定されます。

**4** 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。

読み取り用バーコードは「設定用バーコード一覧」(→ P.35)をご覧ください。

**5** 「基本設定」バーコードの中から、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

#### お願い

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch テンプレート設定でラベルが印刷されます。(「オートカットあり」、「ハーフカットあり」で1枚ラベルが印刷されます。) P-touch テンプレート設定について詳しくは、スタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム (プログラム)」 - 「MAX」 - 「P-touch Editor 5.0」から「PM-36H テンプレートマニュアル」を選択してご覧ください。

- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力用」バーコードで3桁の数字を読み取ってください。数字3桁を読み取ると自動的に確定します。

(例)

数字の設定は次のように行います：  
7 → [00][7]、15 → [0][1][5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。

**6** 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、バーコードテンプレートのキー割り当て番号を「テンキー入力」バーコードの数字(3桁)で読み取ります。

#### お願い

- 数字3桁を読み取ると自動的に確定しません。

(例)

数字の設定は次のように行います：

7 → [00][7]、15 → [0][1][5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、3桁の数字を読み取りなおしてください。

**7** データベースファイルのキーバーコードを読み取ります。



8766

**8** 「デリミタ」バーコードを読み取ります。

**9** 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

**10** 指定したテンプレートのオブジェクトがデータベースファイルのデータに置き換えてラベルが印刷されます。

**ABC株式会社**

企画課

**堀田 花子**

8766

## 本機の設定を印刷する

本機の設定を印刷できます。本機のフィード & カットボタンを使用します。

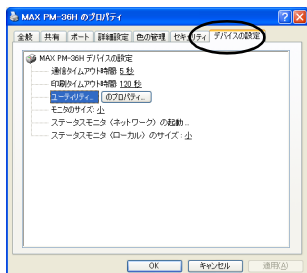
- 1 レタリテープカセットまたは、高速レタリテープカセットをセットしてカバーを閉めてください。  
24mm 幅以上のテープをご使用になることをお勧めします。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 フィード&カットボタンを長押ししてください。

# シリアルインターフェイスの設定

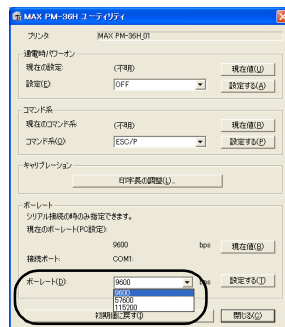
パソコンと本機のポートと通信速度の設定を変更する手順を説明します。本機とパソコンは同じ設定を使用します。Windows Vista® を例に説明しています。

## パソコンの通信速度設定

- 1 「スタート」 - 「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」(Windows® XP) / 「ハードウェアとサウンド」(Windows Vista®) を選択し、「プリンタとFAX」(Windows® XP) / 「プリンタ」(Windows Vista®) / 「デバイスとプリンター」(Windows® 7) をクリックします。
- 3 「MAX PM-36H」アイコンを右クリックして、「プロパティ」/「プリンターのプロパティ」(Windows® 7) を選択します。
- 4 「ポート」タブをクリックして、リストから使用するポートを選択します。設定を保存するには「設定する」をクリックします。
- 5 「デバイスの設定」タブをクリックして、「ユーティリティ」をクリックすると表示される「のプロパティ」をクリックすると次のユーティリティ画面が表示されます。



- 6 使用する通信速度を選択します。



- 7 「設定する」をクリックします。通信速度が変更されます。
- 8 「閉じる」をクリックします。
- 9 [OK] をクリックします。設定が完了し、設定画面が閉じます。

## 本機の通信速度設定

本機の通信速度設定について詳しくは、スタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム」(プログラム) - 「MAX」 - 「P-touch Editor 5.0」から「PM-36H テンプレートマニュアル」を選択してご覧ください。

# お手入れ

定期的に本機のお手入れをおこなってください。

## お願い

- 本機をお手入れするときは、必ず AC アダプタを抜いてください。

## ■ 本機外観のお手入れ

本機外観のほこりや汚れは乾いた柔らかい布でふき取ってください。  
汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った布でふき取ってください。

## お願い

- シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤・薬剤などは使用しないでください。本機外観の表面が傷む恐れがあります。

## ■ プリントヘッドとヘッドローラーのお手入れ

印刷したラベルに横線が入っていたり、鮮明に印字されないときは、プリントヘッドやヘッドローラーが汚れている可能性があります。プリントヘッドとヘッドローラーは、乾いた綿棒で拭いたり、セルフクリーニング機能を使用したり、または別売りのプリントヘッドクリーニングカセット (LM-C536) を使用して、お手入れしてください。クリーニングカセットの使用方法について詳しくは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

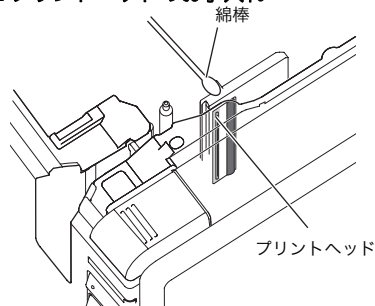
## ⚠ ご注意

プリントヘッドを直接手で触らないでください。プリントヘッドは高温になっている可能性があります。

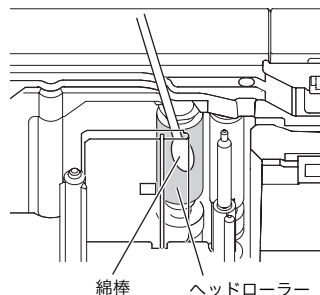
### □ セルフクリーニング機能

テープカセットを取り出し、フィード & カットボタンを押します。

### □ プrintヘッドのお手入れ



## □ ヘッドローラーのお手入れ

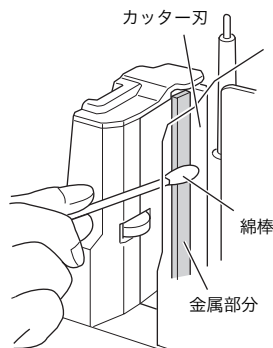


## ■ テープカッターのお手入れ

一年に一度は、カッター刃をイソプロピルアルコール (消毒用アルコール) で湿らせた綿棒で拭いてください。  
ラベルテープの接着剤がテープカット時にカッター刃に残り、印刷したラベルを正常に排出、切断できなくなることがあります。

## ⚠ 警告

カッター刃に直接手を触れないでください。



## 困ったときは

本機を使用していて困ったときは、下記をご参照ください。

### Q & A

症状	対処
本機で印刷できない。 書き込みエラーが表示される。	接続ケーブルが正しく接続されているか、テープカセットが正しくセットされているか、カバーが正しく閉められているかをご確認ください。
印刷中に縞模様のテープが出てきた。	テープカセットがなくなっています。「テープカセットをセットする」(→ P.15) を参考に、新しいテープカセットをセットしてください。
印刷されたラベルの先端に約 2.5 センチの余白がある。	1 枚目のテープの前余白は、テープの機構上無くす方法はありません。2 枚目以降の前余白は、つなげて印刷機能を使用すると無くすことができます。
本機の副電源ボタンが点灯しない、または点滅している。	<ul style="list-style-type: none"><li>本体背面の主電源が入っているか確認してください。</li><li>電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも副電源ボタンが点灯しない、または点滅する場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターに連絡してください。</li></ul>
印刷したラベルに線が入る。	プリントヘッドやヘッドローラーが汚れています。「お手入れ」(→ P.30) を参考にして、プリントヘッドとヘッドローラーを掃除してください。
ラベルカット後に、ラベルが排出されない。	カッター刃が汚れています。「お手入れ」(→ P.30) を参考にして、カッター刃を掃除してください。
パソコンに通信エラーが表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>出力先のポートが正しくありません。Windows® の「プリンタのプロパティ」で「印刷先のポート」を変更します。USB 接続のときは、「USB00n」を選択します。</li><li>本機とパソコンの通信速度が合っていません。「パソコンの通信速度設定」(→ P.29) を参考にして、通信速度を変更してください。</li></ul>
通信速度変更ウィザードやユーティリティ画面で通信速度が設定できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>エラー 99：パソコンが本機を認識できません。</li><li>本機の電源が入っているかご確認ください。</li><li>インターフェイスケーブルは正しく接続されているかご確認ください。</li><li>通信変更ウィザードで選択した COM ポートとケーブルを接続している COM ポートは合っているかご確認ください。(パソコンによっては COM ポートを 1 つしか搭載していないのに、COM2 になっているものがあります。)</li><li>エラー 1、エラー 5：パソコンのシリアルポートが使用できない状態になっています。他のシリアル接続機器が同じ COM ポートを使用している場合は、印刷ができません。シリアル接続機器のポートを変更するか、使用していない COM ポートに本機を接続してください。</li></ul>



症状	対処
<p>本機を初期化したい、またはパソコンから転送したデータを消去したい。</p>	<p>本機を初期化するには、本機の副電源ボタンを長押しして電源を切ります。そのまま約2秒間副電源ボタンを押し続けてから、一度、離してください。その後、副電源ボタンを再度押し、今度は押したまま、フィード&amp;カットボタンを6回押します。本機が初期化されました。本機はお買い上げ時の設定に戻り、パソコンから転送されたデータは全て削除されます。</p>
<p>印刷ジョブをキャンセルしたい。</p>	<p>本機の電源が入っていることを確認してから、前面にある副電源ボタンを1度ポンと押します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インストール時にエラーが発生してしまった。</li> <li>・ CD-ROM からインストールができない。</li> </ul>	<p><a href="http://www.bepop-net.com/">http://www.bepop-net.com/</a>へアクセスしてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース接続の仕方がわからない。</li> </ul>	<p>ソフトウェアユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。</p>
<p>2台目を購入したときのインストール方法がわからない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ USB 接続の場合 パソコンと本機を USB ケーブルで接続すると、プラグアンドプレイによって自動的に2台目のプリンタドライバがインストールされます。</li> </ul>

# 仕様

## ■ 本機

項目	仕様	
商品名	・ PM-36H	
表示	・ 電源ランプ (緑) ・ STATUS ランプ (赤)	
印刷	印刷方式	熱転写ラミネート方式 / 感熱式
	プリントヘッド	360 dpi/384 dot
	印刷解像度	レタリテープカセット : 360 x 360 dpi 高速レタリテープカセット : 360 x 180 dpi, 360 x 360 dpi または 360 x 720 dpi
	印刷速度	レタリテープカセット : 最速 20 mm/ 秒 高速レタリテープカセット : 最速 80 mm/ 秒
	最大印刷幅	27.1 mm
ボタン	・ 副電源ボタン ・ フィード & カットボタン	
インターフェイス	・ シリアル (RS-232C) ・ USB 2.0 フルスピード	
電源	AC 100 V 50/60Hz (AC アダプタ)	
消費電力	約 30 W (印刷時)	
寸法	116 x 193 x 140 mm (幅 x 奥行 x 高さ)	
重量	約 1.58 kg	
カッター	自動フルカッター / 自動ハーフカッター	

\* 自動ハーフカッターはラミネートテープ使用時のみ有効です。

## ■ 動作環境

項目	仕様
OS	・ Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7 (標準インストール)
インターフェイス	・ RS-232C ・ USB ポート (USB1.1 または USB2.0 のプロトコル)
ハードディスク	ディスク空き容量が 70 MB 以上
メモリ	・ Windows® XP: 128 MB 以上 ・ Windows Vista®: 512 MB 以上 ・ Windows® 7: 1GB 以上
モニタ	SVGA、High Color 以上のグラフィック能力
その他	CD-ROM ドライブ

## BTP (Barcode Template Print) function 基本的な設定の流れ

BTP (Barcode Template Print) function を使用する際の基本的な流れを説明します。各設定の詳細な手順については、「BTP (バーコードテンプレート印刷) 機能」(→ P.23) をご覧ください。

- ① P-touch Editor 5.0 を使って、テンプレートを作成し、本機へ転送します。
- ② 本機とバーコードリーダーを接続します。
- ③ 「P-touch テンプレートコマンド」バーコードを読み取ります。  
設定の開始もしくは以前の設定を消去します。
- ④ 「基本設定」バーコードを読み取ります。  
カット方法や印刷枚数を設定します。
- ⑤ 各機能別の設定 (A-C) へ進みます。
  - A. テンプレート印刷機能
    1. 「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。
  - B. バーコード印刷機能
    1. 「テンプレート設定」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
    2. 作成・複製したいバーコードを読み取ります。
    3. 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
  - C. データベース置き換え印刷機能
    1. 「テンプレート設定」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
    2. データベースファイルのデータに置き換えるためにキーとなるバーコードを読み取ります。
    3. 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
    4. 「印刷開始」バーコードを読み取ります。
- ⑥ 設定したラベルが印刷されます。

## 設定用バーコード一覧

BTP（バーコードテンプレート印刷）機能（→ P.23-P.26）で使用する設定用バーコードです。

### お願い

- この一覧のバーコードを使用するときは、P-touch Template 設定の初期設定として「P-touch Template 印刷の制御」と「プレフィクス文字コマンド」を設定してください。

### ■ P-touch テンプレートコマンド（初期設定 + 設定開始）



`[Esc]ia3^II`

### ■ 基本設定

- ・オートカットあり<sup>\*1</sup>



`^CF01`

- ・オートカットなし



`^CF00`

- ・ハーフカットあり<sup>\*1</sup>



`^CH1`

- ・ハーフカットなし



`^CH0`

- ・つなげて印刷あり



`^CP1`

- ・つなげて印刷なし<sup>\*1</sup>



`^CP0`

- ・ミラー印刷あり



`^MP1`

- ・ミラー印刷なし<sup>\*1</sup>



`^MPO`

- ・印刷枚数<sup>\*2</sup>



`^CN`

■テンキー入力\*2

・ 1



・ 3



・ 5



・ 7



・ 9



・ 00



・ 2



・ 4



・ 6



・ 8



・ 0



■定型テンプレート番号

・ 定型テンプレート 1



・ 定型テンプレート 3



・ 定型テンプレート 2



・ 定型テンプレート 4



・ 定型テンプレート 5



・ 定型テンプレート 6



・ 定型テンプレート 7



・ 定型テンプレート 8



・ 定型テンプレート 9



・ 定型テンプレート 10



■ テンプレート選択 \*2



■ テリミタ



■ 印刷開始



\*1 初期設定値です。

\*2 印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。

[007]、[015] など 3桁になるように読み取ってください。3桁を読み取ると自動的に確定されます。設定を変更するには、印刷枚数の場合は「印刷枚数」、テンプレート番号の場合は「テンプレート選択」を読み取ってから、もう一度、3桁の数字を読み取ってください。

# 索引

## A

AC アダプタ .....	7, 12
AC アダプタジャック .....	8

## B

BTP 機能 .....	23
--------------	----

## C

CD-ROM .....	7
--------------	---

## L

LED 表示について .....	9
------------------	---

## Q

Q & A .....	31
-------------	----

## S

STATUS 表示ランプ .....	8
--------------------	---

## U

USB ケーブル .....	7, 14
USB ポート .....	8

## あ

安全にお使いいただくために .....	2
---------------------	---

## い

インターフェイスケーブル .....	14
--------------------	----

## お

お手入れ .....	30
------------	----

## か

各部の名称 .....	8
カバー .....	8
カバーオープンボタン .....	8, 15

## く

クリーニングカセット .....	30
------------------	----

## こ

高解像度印刷 .....	20
高速印刷 .....	20
高速レタリテープ .....	15
ご使用の前に .....	11
困ったときは .....	31

## し

主電源スイッチ .....	8, 12
初期化 .....	32
仕様 .....	33
使用上の注意 .....	5
シリアルインターフェイスの設定 .....	29
シリアルケーブル .....	14
シリアルポート .....	8
シリアルポート設定 .....	23

## せ

設定用バーコード一覧 .....	35
セルフクリーニング機能 .....	30

## そ

ソフトウェアをアンインストールする .....	18
ソフトウェアをインストールする .....	16

## つ

通信速度設定 (パソコン) .....	29
通信速度設定 (本機) .....	29

## て

定型テンプレート印刷機能 .....	24
データベース置換印刷機能 .....	26
テープカセット .....	7
テープカセットをセットする .....	15
テープカッターのお手入れ .....	30
テープ排出口 .....	8
電源コード .....	7, 12
電源を接続する .....	12
転送データの消去 .....	32

## と

動作環境 .....	33
取扱説明書 .....	7

## は

バーコード作成印刷機能 .....	25
バーコードテンプレート印刷 .....	23
パソコンと接続する .....	13
パソコンに接続しないで印刷する .....	23

## ふ

フィード & カットボタン .....	8
副電源ボタン .....	8, 12
付属品 .....	7
プリントヘッドとヘッドローラーのお手入れ .....	30
付録 .....	34
分散印刷 .....	21

## ほ

本機外観のお手入れ .....	30
本機の設定を印刷する .....	28

## れ

レタリテープ .....	15
--------------	----

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

# **MAX** マックス株式会社

本社・営業本部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

TEL (03)3669-8108 (代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

**お客様相談ダイヤル：0120-510-200**

又は、有料ダイヤル：03-3669-6786

受付時間：月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）9:00～18:00

URL：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

- \* 携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。
- \* ナンバーディスプレイを利用しています